

財源 内訳	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
	国県支出金の内容								
	地方債	千円		千円		千円		千円	
	その他特財	千円		千円		千円		千円	
	その他特財の内容								
	一般財源	2, 295	千円	2, 232	千円	1, 987	千円	1, 735	千円
財源合計		2, 295	千円	2, 232	千円	1, 987	千円	1, 735	千円
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）			単位	令和7 年度	令和6 年度	令和5 年度	
		飲料水(避難者1人当り1日3ℓ×3日分)			ℓ	10,467	10,251	10,251	
		飲料水(帰宅困難者1人当り1日1ℓ×1日分)			ℓ	1,758	4,131	4,131	
		米穀類(避難者1人当り1日3食×3日分)			食	10,467	10,251	10,251	
		米穀類(帰宅困難者1人当り1日1食×1日分)			食	1,758	4,131	4,131	
		有効活用による備蓄品提供団体			団体	38	38	39	
	単位当たりコスト	総事業費	／	対象者数	円	786	765	681	

事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	災害発生後の一定期間（３日間を想定）、住民に提供できるだけ食料を確保すること。市における「公助」としての備蓄の他、有効活用により、住民一人ひとりの「自助」、自主防災組織等の「共助」を促すこと。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	令和7 年度	令和6 年度	令和5 年度
		避難者数に対する備蓄日数	日	3	3	3
		ローリングストックの実施率	%	100	100	100
		備蓄品提供団体の活用率	%	100	100	100
自己評価 課題 今後の方針 (事業の有効性、効率性、必要性の観点)	備蓄品（非常食）を備蓄する事業は、住民の生命、身体及び財産を災害から保護する上で不可欠な事業 有効活用の実施に伴う家庭や地域での備蓄率を把握し、事業の有効性を把握する必要がある。					
比較参考値 (類似事業例など)	都 留 市：対象者数 2,107人 備蓄数量 18,963食（3日分） 上野原市：対象者数約3,800人（内帰宅困難者数約2,100人） 備蓄数量約35,000食（3日分）					
特記事項						

成果目標
(指標設定理由等)

災害発生後の一定期間（３日間を想定）、住民に提供できるだけの食料を確保すること。市における「公助」としての備蓄の他、有効活用により、住民一人ひとりの「自助」、自主防災組織等の「共助」を促すこと。

成果
(達成状況)

【成果指標名】 (実績値/目標値)

单位

令和7 年度

令和6 年度

令和5 年度

避難者数に対する備蓄日数

3

3

3

3

ローリングストックの実施率

%

100

100

100

備蓄品提供団体の活用率

%

100

100

100

自己評価
課題
今後の方針

(事業の有効性、効率性、必要性の観点)

備蓄品（非常食）を備蓄する事業は、住民の生命、身体及び財産を災害から保護する上で不可欠な事業

有効活用の実施に伴う家庭や地域での備蓄率を把握し、事業の有効性を把握する必要がある。

比較参考値
(類似事業例など)

都 留 市 :	対象者数 2,107人	備蓄数量 18,963食 (3日分)
上野原市 :	対象者数約3,800人 (内帰宅困難者数約2,100人)	備蓄数量約35,000食 (3日分)

特記事項